

**四つのテスト** 現行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

- ◆司会 馬場隆寿SAA委員長
- ◆四つのテスト 岩田伸治さん
- ◆ご来訪ロータリアン 長崎北東RC 岩永信昭PG 長崎北RC 崎永 剛PG 長崎中央RC 塚崎 寛PG

**◆会長挨拶 山田孝二会長**



皆様こんにちは。先週は長崎みなとロータリークラブとの合同例会でした。余興等、段取りいただきました柳親睦活動委員長ありがとうございました。非常に楽しく過ごすことができました。ここ最近の会長挨拶ではスポーツネタがあんまりお話しできませんでしたので、今日はNBAのお話をしたいと思います。アメリカのバスケットボールリーグです。私がNBAをよく観るようになったのは、大学卒業したくらいの頃です。当時はシカゴブルズ全盛の頃で、MJジョーダン、SPピペン、Dロッドマン、Lロングリー、Sカーなどがブルズで活躍しており、現在でも最高勝率である72勝10敗を記録しました。対戦相手には、Sオニール、Kマローン、Dロビンソンなど210センチを超えるデカイセンターがいました。当時のバスケットはインサイドにボールを入れてゴリゴリ攻めていくという戦い方が主流でした。その中でMJジョーダンは華麗でダイナミックなハンドリングでゴールするというのを観て興奮したものでした。その後に出てきたKブライアント、Lジェームズも素晴らしい選手ですが、私が観てきた選手で一番の選手はMJジョーダンかなと思います。それから25年ほど経って、Sカーリーに代表されるようにアウトサイドから3Pシュートをどんどん決めて試合を進めていくという風なゲームが多くなってきました。これは、NBAに限ったことではなく、今年行われたワールドカップなどでも日本が実践した戦い方です。長崎ベルカも同様だと思います。時代が変われば戦い方も変わるんだなあと思います。野球も同様で、昔はダウンスイングやレベルスイングを徹底的に指導されていましたが、現在はフライボール革命と言って「フライを打ち上げる方がよりヒットの確率が上がる」という考え方になってきました。大谷選手のスイング見ても完全なアッパースイングです。色々なスポーツで戦い方が変わったり、ルールが変わったりしていくのも時代の流れなんだなあと感じます。そこを話すると長くなってしまいますので、今日はこれくらいにしておきます。本日の卓話はNCCより本宮沙樹様に行っていただきます。後ほど、宜しくお願いいたします。

**◆幹事報告 尾本久男幹事**

- ①例会変更並びに休会のお知らせ  
長崎北東RC 12/13(水)忘年会のため  
18時30分～ザ・グローバルビュー長崎  
長崎みなとRC 12/12(火)忘年会のため  
18時30分～マルセドリッシュ  
【休会】長崎北東RC 12/27(水) 長崎みなとRC 12/26(火)  
定款第7条第1節により休会
- ②理事会報告  
■創立40周年に向けて予算・役割分担・スケジュールの件  
各事業部メンバーについては、決定している各事業部事業部長と副部長で決め、事業部間で調整する。記念事業については、MailやFAX等でメンバーの意見収集して決定する。今後のスケジュール等を協議する。・実行委員会で決定した内容については、例会時の委員会報告でメンバーへ報告する。

**◆委員会報告 柳龍一郎親睦活動委員長**

- 忘年例会のお知らせ 12/19(火)は忘年例会となり、忘年懇親会をより楽しいものにするため、皆様からの賞品のご提供をよろしくお願ひします。賞品は例会場または事務局までお持ちいただければ助かります。尚、当日のお昼の例会はございません。
- 40周年記念事業アンケートの件 創立40周年の記念事業について会員の皆様からのご意見を伺いたくアンケートをお送りいたしますので、ご協力くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

**卓話**



NCC長崎文化放送「トコハピ・トコサタ」リポーター

本宮 沙樹さん

これまでの仕事で学んだもの  
- 会話力 コミュニケーション能力について -



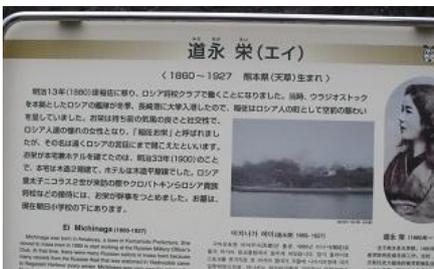
◆期首会員数	36名	◆入会者	1名	◆退会者	0名	◆現在	37名
◆11/28 例会出席	20名	◆免除者出席	6名	◆欠席	17名	◆出席率	62.50%

◆ニコニコ箱

- 山田孝二さん ニコニコのために。
- 許斐義彦さん 先日の合同例会余興で、中田さんの踊る姿を見て感激でニコニコします。親睦委員会柳さんにアッパレ!!
- 柳龍一郎さん 中田さん、先日の合同例会出番が少なくて申し訳ありませんでした。ぜひ来年の合同例会で「三線」のご披露をお願いいたします。
- 嶽本幸次さん 先日、18親和銀行北支店のゴルフコンペで、山田吉盛さんが優勝したので、報告します。

◆知る人ぞ知る・稲佐 お栄さん 許斐義彦

長崎の3女傑(大浦慶、楠本イネ、道永エイ)の一人、道永エイ(1860~1972)は、「稲佐お栄」として、遠くロシアまでその名が轟く女傑であった。天草で生まれたお栄は12歳で両親を失い茂木の旅館で働いた。その後20歳の頃稲佐のロシア将校クラブに住み込みで勤める様になり、そこでロシア語を習得し、熱心さと頭の良さと物怖じしない度胸によって、ロシア語がメキメキ上達した。その後、ロシア艦隊の船でウラジオストックに行くが、その時大村湾の真珠を持っていき巨利を得る。10年後長崎に戻り、稲佐の高台にロシア高官たちを客とするホテルベスナを経営。持ち前の美貌と社交性でロシア人たちのマドンナ的存在となった。明治24年4月、ロシア皇帝ニコライ二世が長崎に来た時は、ロシア語が堪能なことで注目され、二回目の長崎訪問では、ニコライ二世から寵愛を受けたと言われている。



お栄さんの自宅と言われる家。烏岩神社のすぐ下にある。



◆ハイライトよねやま 284号

異なる景色から見る米山奨学事業の意義

9/4、ベトナム出身の米山学友で、さいたま大空RC直前会長のチャン コン トゥアンさん(2008-10/幸手RC)が、大宮シティRCにて卓話を行いました。母国の若い人材を日本に送り出し、ベトナムの経済や教育水準向上を目指すジャパンオープンコンソーシアム協同組合で専務理事を務めるチャンさん。幸手RCでは素敵な方々に出会ったことで人生観が変わり、誰かの役に立つことの素晴らしさを体感したそうです。自身が会員になったきっかけは、同胞の先輩から「米山学友らで構成されるロータリークラブがある」と紹介されたこと。憧れだったロータリー会員として活動する中、「当時はありがたさを強く感じていましたが、会員として改めてこの事業の意義を考えると、教育、親睦、経済援助を通じて世界平和、国際親善、人材育成など、まさにロータリーの目的を体现するこの上ない事業だと思います」と語りました。

支援に感謝 ウクライナ学友が来日講演

ウクライナ出身の米山学友、セブネンコ・テチアナさん(2017-19/大阪城南RC)がホームカミング制度で来日し、世話クラブが主催する「ウクライナ支援講演」(10/27開催、協賛:吹田RC)で、侵攻後の生活や母国の未来について語りました。講演会には、国際ロータリー第2660地区延原健二ガバナーやロータリー会員・家族、米山学友などオンラインを含む300人弱が参加しました。テチアナさんは大阪大学大学院で博士号を取得後、母国ウクライナに帰国。製剤化学者として勤務する日々が一変したのは昨年2/24の朝でした。「戦争が始まった。皆、仕事には来なくて良い。自分で安全を確保するように」上司からの指示でした。その日以降、テチアナさんは仲間とともに、食料や医薬品、おむつなどの物資を届けるなどボランティアに従事。大阪城南RCでは彼女の苦境を案じ、緊急支援金を集めて送ったところ、テチアナさんは自分や家族のためではなく、すべて支援物資の購入や輸送、困窮家族の援助に充てていたことがわかりました。「自分も苦しいはずなのに、われわれのお金を一番有効なことに使いたいという気持ちで使ってくれた。すごい子やなど。だったら、もっと支援の輪を広げてあげたい」と、今回の企画の発案者である西谷雅之の会員は語ります。この日の支援講演に寄せられた義援金はなんと4,027,350円。用途については随時、大阪城南RCのHPで報告されるということです。

ニコニコ箱	目標 1,200,000円	11/28	12,000円	累計	400,200円
ロータリー財団寄付	目標 1人150ドル/年間	11/28	3,000円	累計	97,000円
米山記念奨学寄付	目標 1人16,000円/年間	11/28	3,000円	累計	119,000円